

# おおさき 議会だより



ゴールを目指して全力疾走(第67回町民体育祭)

(撮影：中倉広文委員)

## 9月定例会

- **こんなこと決めました**  
要件を満たすと介護保険料が  
一定期間安くなります…………… 2
  - 令和元年度補正予算…………… 4
  - **町政を問う(一般質問者)**…………… 7
- 稲留 光晴 議員  
富重 幸博 議員

- 中山 美幸 議員  
吉原 信雄 議員  
中倉 広文 議員  
児玉 孝徳 議員  
神崎 文男 議員  
上原 正一 議員

# 期間安くなります

2019年  
9月  
定例会  
9月5日～9月20日

## 条例等の主なもの

### ● 印鑑登録証明書の記載内容が変わります

令和元年11月5日に施行される住民基本台帳法施行令の一部改正に伴い、関連する事務処理要領の一部が改正されるため、大崎町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正するものです。今回の改正の主な対象は、女性の活躍の観点から印鑑登録証明書へ旧氏（つじ）の記載を可能とし、性同一性障害や性的指向などに配慮して男女の別の記載を無くすものです。

### ● 被災者が借りた資金が要件を満たすことにより猶予されたり免除される場合があります

災害弔慰金の支給等に関する法律などが一部改正されたため、大崎町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正するものです。改正の内容は、災害により被害を受けた世帯の世帯主に対し貸し付ける災害援護資金について、資金の貸付を受けた者が生活再建が思うようにならず、期限内の償還が困難であるなどの状況を踏まえ、償還金の支払猶予、償還免除の対象範囲の拡大について必要な措置を講ずる事が出来るよう改正するものです。

### ● 要件を満たす方は介護保険料が一定期間安くなります

介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部が改正された事に伴い、所得の低い第1号被保険者の保険料について、所得の段階別に軽減が実施されているが、

10月からの消費税率10パーセントへの引き上げに合わせて、これを更に軽減するため令和元年度及び2年度における保険料を定めるものです。

軽減される介護保険料の年間額比較表

区分	第1号被保険者		
	基本額	改正前	改正後
第1段階	78000円	35100円	29250円
第2段階	78000円	58500円	48750円
第3段階	78000円	58500円	56550円

### ● 令和2年4月1日から会計年度任用職員制度が始まります（議案第35号）

現在、各地方公共団体においては多様化・高度化する行政ニーズに対応するため、任期の定めのない常勤職員以外にも事務の種類や性質に応じて臨時職員や非常勤職員といった多様な任用や勤務形態が活用され、地方行政の重要な担い手となってきた。このような状況を踏まえ、国において臨時・非常勤職員の適正な任用や勤務条件を確保する事などを目的に法律の改正が行われ、任期の期間を採用日の属する会計年度の末日までの範囲内とする会計年度任用職員という新たな制度が創設されたため関係条例の規定の整理を行うものです。会計年度任用職員制度は令和2年4月1日から始まりです。

# 要件を満たすと 介護保険料が一定

## ●会計年度任用職員の給与と費用弁償に関する新しい条例を作りました

新たに創設された会計年度任用職員の給与や費用弁償については、地方公務員法や地方自治法の規定により条例で定める必要があることから、大崎町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例を新たに定めるものです。

※会計年度任用職員の制度創設については、2ページの議案第35号に関する説明を参照

**質**… 制定予定の条例の中にパートタイム会計年度任用職員が公務のために出張した時の規定があるが、現状ではこれに該当する事例があるのか。

**答**… 現状の件数については把握していない。

## ●将来に向けて新しい過疎対策法を作るための要望を国に行いました

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」の制定が行われ4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。しかしながら、現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することから、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要かつ必要であることから、新たな過疎対策法の制定を強く要望するため、地方自治法第99条の規定により、議会として国の関係機関に意見書を提出するものです。

## ●消費税率の引き上げに伴って町内施設の使用料が変わります

本年10月1日から消費税率10パーセント（消費税7・8%、地方消費税2・2%）に引き上げられた事に伴い、本町の12の条例（農林振興課4条例、耕地課1条例、企画調整課3条例、社会教育課4条例）に規定する使用料をそれぞれ改正するものです。10月1日から施行されています。

## 人権擁護委員を適任であると答申

人権擁護委員について、左記の方が適任であると町長に答申しました。



住所 大崎町井保  
氏名 稲葉 正和 氏（72歳）

## 教育委員会委員に同意

教育委員会委員の任期が満了となったことから、再任に同意しました。



住所 大崎町持留  
氏名 溝口 信男 氏（70歳）

# あすばる大崎の経営責務の考えは

令和元年9月定例会 一般会計補正予算(第3号)

2億8278万円を可決

本会議での審議内容については、抜粋したものを掲載

## 国際しごと・人材育成センター設立支援事業委託料 1883万6千円

本町が自治体SDGs(持続可能な開発目標)モデル事業に選定されたことに伴い、国庫補助事業で実施する旧鹿児島相互信用金庫跡地を活用した国際しごと・人材育成センター(仮称)の設立支援などに係る委託料です。

**質:** 当該委託料の事業内容について説明を求める。

**答:** 地方創生に関する事業として実施するものであり、現在、リサイクルに関する視察で多くの方々が本町を訪れているが、日帰りの視察が主となっている状況であるために町内の宿泊業や飲食店など本町への研修受け入れ効果が薄い状況が課題となっている。このような課題を改善するため国際しごと・人材育成センターを設立し、滞在型の人材育成プログラムを構築して、宿泊業や飲食店への経済効果と併せて町民の方々へ教育、創業支援など地域内へ還元させる仕組みを構築するためのプログラム設計の経費などを見込んでいる。また、旧大崎マルシェの改修を行ったうえでSDGs推進・普及の起点施設とする計画である。

## あすばる大崎管理運営補助金

572万8千円

あすばる大崎の管理運営に係る補助金です。

**質:** 当該運営補助金の内容について説明を求める。

**答:** あすばる大崎と管理運営に関する協定書を交わしており、その中で不測のリスクが生じた場合は双方協議のうえリスク分担を決定するという規定があり、今回はその規定を適用して、昨今の重油の高騰による温泉施設の安定的な運営のリスクを回避するために予算計上したものである。

**質:** あすばる大崎は、大崎町、(株) ジャパンファーム及びそお鹿児島農協が出資して運営しているが、経営に対する3者の責務をどのように考えているのか。

**答:** 取締役会において事業計画を作成しているもので、それを審議していきながら利用し易いような雰囲気作りなど色々提言しながら取り組んでいるが、一番影響していることが重油の高騰であり取締役会でもこの事に対してその節減の仕方とか、時間帯を変更することなどの取り組みを行っている状況である。広域交流活性化センターとしてどうやって維持していくかということを中心に色々検討している状況である。

# 再発防止策を強く要望!!

令和元年9月定例会 一般会計補正予算(第4号)

4600万円を可決

本会議での審議内容については、抜粋したものを掲載

## 地域経済循環創造事業交付金返還金

4600万円

旧大崎第一中学校跡地を活用して展開していた事業において、事業主による財産の無断処分などが発覚し交付金事業を取り消すこととなった事に伴う国への返還金です。

**質：**企業が本町に参入した経緯と参入時にどの程度会社の調査を行ったのか。

**答：**農業用の廃プラスチックを再生する会社であり、この地域では農業用のビニールを使った農業が多い地域であることなどから、この事業の再生処理という面で、経営が出来るという判断をされ本町に参入したということである。また、本人が金融機関に計画書を提出し、そこで詳細にヒアリングなどを受けたうえで金融機関から支援を受けており、町としてはその状況を基にした説明を受け、その結果、国へ補助金申請を行った。

**質：**今回の件については、税金を投入して返還する事になると思われるが、町長の任期中に解決すべきだと思うがどうか。

**答：**破産手続きなどの裁判関係が全て終わってから早期に解決できるように努力し、歳入欠陥が一番大きな問題であるので、それを少しでも抑制する努力をしていく。

**質：**一般住民に対する説明は、どういう形で行う考えか。

**答：**予算可決後に国への交付金の返還並びに事業者に対して返還命令を求める事になる。その後、正式な破産手続きが開始されていく事になるが、その中で事業継承する事業者が見つければ、その時点で住民の方々に説明をしていく。

**要望事項：**二度とこのような事がないように、再発防止策を速やかに検討し、町への実害が最小限にとどまるように最大限の努力をするよう要望した。

# 新たな町づくりを推進するために

9月定例会で各常任委員会に付託された議案の審議内容(抜粋)

## 総務厚生常任委員会

●令和元年度大崎町一般会計補正予算(第3号)

### ◇特定野菜等供給産地育成価格差補給事業負担金(2万9千円)

質…特定野菜には、説明のあったキュウリ以外にどのような作物があるのか。また総体でどのくらいの補償になるのか。

答…特定野菜の作物は他にナス、ピーマン、ニンジン、秋冬ネギがある。令和元年度の冬春キュウリの予約量は、435トン、補償金額で1709万4千円を積み立てる事になり、この72分の1を大崎町が負担する事になる。対象者としてはおお鹿児島農協のキュウリ部会の会員17人である。

### ◇燃ゆる感動かごしま国体大崎町実行委員会補助金(624万5千円)

質…ビーチスポーツ会場の道路沿いの長さ160メートルの法面に常設による2段の階段を作り、そこを観客席として利用し、一部に車椅子スペースを設ける計画であるとのことであるが、車椅子のスペースは縦横何メートルで何箇所設置する予定なのか。

答…施工箇所は160メートルのうち110メートルほどである。現在の計画では、幅4メートル、奥行き2メートルを想定しており、設置箇所については1箇所である。

要望…車椅子のスペースをあと2箇所ぐらいは増やした方がいいのではないかと。また、設置場所にはステンレス製の転落防止の柵を設置し、幅が4メートルあるのであれば外枠だけではなくて、車椅子の利用者の意向を踏まえながら利便性に優れた施設になるよう検討することを要望した。

### ◇国際じごと・人材育成センター設立支援事業委託料(1883万6千円)

質…SDGsによる総合戦略を策定することであったが、その

計画の中には、地域に住んでいる住民の意見が反映されないといけないと思うがどうか。

答…次期総合戦略の策定にあたっては、何段階かのプロセスを経て策定する事としており、準備段階では、住民の方々を始め、外国の方、あるいは各種団体の方々の意見を踏まえ、ワーキンググループを組織し、そこで叩き台作り、次に部会ごとに分かれた準備委員会で協議を行い最終的に推進会議において協議する予定である。また、推進会議のメンバーには、商工会、JA、教育関係の方、青年会議所、金融機関、ハローワークの方、女性代表の方など10名を予定している。

## 文教経済常任委員会

●令和元年度大崎町水道事業会計補正予算(第1号)

質…窓口業務の負担軽減という観点から、コンビニ収納をもっと周知すべきではないか。

答…コンビニ収納の周知については非常に大事であると考えてるので、今後、広報紙などを活用しながら啓発に努めていく。

質…消費税及び地方消費税の税率が10月1日から10パーセントに引き上げられるが、水道料金の見直しは考えているのか。

答…消費税及び地方消費税の税率が8パーセントから10パーセントに引き上げられる予定であるが、水道料金については、令和2年1月以降に請求する料金から、税率10パーセントで料金計算を行うっていくことになる。

# 一般質問

稲留光晴 議員 P 8

- ・地域交通利便性向上策はどう進展しているか
- ・保育料無料化への対応はどうか
- ・会計年度任用職員制度への対応はどうか

富重幸博 議員 P 9

- ・令和元年梅雨期災害の現況と対応策について
- ・農業振興地域整備計画見直しの現況と今後の方向について
- ・資源ごみ分別収集方法の改善について

中山美幸 議員 P 10

- ・住民自治組織（自治会）の活性化について
- ・大崎中学校部活運営状況について

吉原信雄 議員 P 11

- ・大崎町土地開発基金の有効活用による定住化促進について
- ・新築住宅に対する浄化槽設置補助金の継続について
- ・庁舎のバリアフリー化への対応について
- ・高齢者の自動車の安全運転のための器具等の設置補助金の創設について

中倉広文 議員 P 12

- ・リサイクル事業について
- ・農業振興について
- ・防災について

児玉孝徳 議員 P 13

- ・今後の防災のあり方は

神崎文男 議員 P 14

- ・大崎町を流れる3河川の水質の現状と改善策は
- ・ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅周辺の道路、排水路について
- ・医療費の抑制について

上原正一 議員 P 15

- ・定住化促進対策について
- ・有害鳥獣対策について
- ・公営霊園について

8議員が登壇

町政を問う

議会を傍聴  
してみませんか!!

手続きは簡単です。  
本会議の当日、傍聴人受付票に住所・氏名等を記入していただくだけです。  
なお、本会議は本庁舎3階の本会議場において午前10時から行われます。  
一般質問のある日程のときは、事前に防災無線でもお知らせしています。どうぞお気軽にお越しください。  
次回の定例会は12月です。

問い合わせ先：大崎町議会事務局 TEL 099-476-1111（内線 310・311）

# 地域交通利便性向上策はどの程度進展しているか

## 持続可能な方法を現在検討中



稲留 光晴 議員

本年度中にはいい方向で進めると3月議会で答弁されたが、進展状況はどうか。

### 今後の財政状況を念頭に持続可能な方法を検討

#### 町長

高齢者の交通手段の確保が必要であることは認識している。県内外市町村の取り組みを調査した。費用対効果や財政状況など持続可能な方法を現在検討している。

### 保育料無償化による対象世帯の幼児数は

#### 稲留議員

課税世帯の0歳児から2歳児を除く対象になる幼児数は何人か。



未来を担う園児たち

無償化に該当する児童は3208名である

#### 保健福祉課長

本町における町内外の保育施設に入所している児童は489名でそのうち、今回無償化に該当する児童は328名である。

無償化になる世帯の負担総額はいくらか

#### 稲留議員

課税世帯の0歳児から2歳児の世帯を除く利用料無償化世帯の負担総額はいくらか。

合計額は2010万円

#### 保健福祉課長

10月から来年3月の半年間で無償化となる児童に係る保育料合計額は2010万円である。

無償化以外の児童数と課税世帯の保育料負担総額は

#### 稲留議員

0歳児から2歳児の保育料は一番高いが、対象となる幼児数と保護者の負担総額はいくらか。

161人で1600万円

#### 保健福祉課長

無償化にならない児童数は161人で、係る保育料負担額は1600万円である。

国からの交付金計画はどのようになるか

#### 稲留議員

来年度、国からの予算配分など交付金計画はどうなるか。

国が2分の1で県町それぞれ4分の1

#### 町長

従来通り、国負担は2分の1、県・町のおおの4分の1で、予算編成上、歳入で施設型給付費を金額計上するが、後で普通交付税、地方消費税交付税で返ってくるシステムになっている。

会計年度任用職員制度の任期は

#### 稲留議員

2020年4月施行の会計年度任用職員制度の任期は1年、再任が可能。ただし、任用する可否は自治体の判断となるのか。

任用期間が一年で職員扱いとなる

#### 総務課長

今度の会計年度任用職員については、職員扱いとなり、採用試験では筆記試験はしない。

採用人数は何人か

#### 稲留議員

採用人数はパート、フルタイム合わせて何人を予定しているか。

68名で試算している

#### 総務課長

現在の臨時職員がパート職員

の範囲に入るので、同様の雇用内容の68名で試算している。

給与及び報酬と休暇項目は有給か

#### 稲留議員

会計年度職員のフルタイム及びパートでの給与、報酬と休暇項目は有給か無給か。

フルタイムは給料と手当がパートは報酬と手当がある

#### 町長

休暇については有給の休暇は年次休暇、特別休暇無給の休暇は、女性の出産に伴う産前産後や育児休暇・介護休暇である。

会計年度任用職員の手当項目

項目	フルタイム任用職員	パートタイム任用職員
手当	給料	報酬
	通勤手当	費用弁償
	時間外勤務手当	期末手当
	特殊勤務手当	
	休日・宿日直手当	
	期末手当	

# 令和元年梅雨期災害の現況と対応策は

## 国の災害査定後、年度内完成を目指す



富重 幸博 議員

本年、6月末から7月上旬にかけての梅雨末期の災害の現状は、どのようなになっているか。

### 道路・河川・田畑など被災総額2億1千万円以上

#### 町長

国営かんがい排水事業曾於南部地区においても用水施設管理用道路など5箇所が災害が発生し、各ファームポンドへの送水が遮断されている。

本町の災害では土木関係26箇所、農林耕地関係で98箇所、総額2億1100万円となっている。

### 年度内の災害復旧工事の見通しはどうか

#### 富重議員

全体的な復旧工事について、年度内の進捗等、見通しはどうかになっているか。

### 年度内完成を予定している

#### 建設課長・耕地課長

国による災害査定が済み次第発注し、年度内完成を目指す。

#### 農林振興課長

治山工事1箇所については、県に査定依頼中で完成時期については、はつきりしていない。

### 野方地区隧道式水路の崩落災害の現況・課題は何か

#### 富重議員

野方地区における素掘り隧道の災害実態と発生後の取り組み地元対策などについてどうなっているか。



崩落した隧道

### 隧道内部調査をしたが全容解明が難しく地元と調整中

#### 町長

水之谷隧道は、総延長1700メートルで内部で大きな崩落が数箇所発生、無人小型車でカメラ確認を試みたが、途中の崩落箇所を車が通過できず全容をつかむのが困難である。

これらを踏まえ、地元水利組合の臨時総会において耕地課職員が出席し、経過説明など行いながら協議中である。

### 農業振興地域整備計画見直しの現況と今後の方策

#### 富重議員

農業振興地域整備計画見直しに取り組んだ目的は何か。

### 地域活性化の観点から見直し

#### 町長

農業振興地域整備計画は、前回の変更から約10年が経過し、県の方針変更や社会環境の変化などに伴い、計画変更の必要性が生じたことによる農業の総合的な振興と定住化促進や工業用地など、地域活性化をはかるため全体的に見直しを行った。

### どのような条件を考慮し見直しを進めたか

#### 富重議員

人口動態をはじめ、いろいろな指標を考慮しながら作業を進めてきたと思うが、どのような条件を考慮したか。

### 十年先を見つめ編入及び除外地区を選定した

#### 町長

編入は圃場整備予定地区で、除外区域は原野化、林野化した区域、東九州自動車道や関連するインターチェンジの整備に伴う交流人口の増加などが見込まれる地区、宅地化・工業化の見込まれる地域である。

なお、ジャパンスリートレーニングセンター大隅周辺については、町道（飯隈一在郷線）以南を除外区域として県と協議予定である。

### 不法投棄やポイ捨てについて把握しているか

#### 富重議員

資源ごみ収集リサイクル率について、12年連続日本一であるが、ごみの不法投棄やポイ捨てについてどのように把握しているか。

### 不法投棄箇所4件ポイ捨ても数箇所

#### 町長

平成三十年中、大量の不法投棄箇所4件、ポイ捨てについては

数カ所あったが、連絡を受けた都度撤去している。

### 資源ごみ集合収集場所を設置すべきではないか

#### 富重議員

大崎地区と野方地区で月2回程度時間を決めて集合収集を行う考えはないか。

また、割れたビンやガラス類については、役場及び野方支所ですぐ回収して住民の利便性向上をはかる考えはないか。

### 衛生自治会と協議する

#### 町長

衛生自治会が主体となっており、割れたビンやガラス類の取り扱いについても十分協議しながら判断していく。



道路側溝や排水路等への不法投棄

# 自治公民館組織の活性化をどのように進めるか

## 住民の協力と参加を得ながらすすめる



中山 美幸 議員

自治公民館組織は、地域の問題解決に必須の組織である。10年間の世帯数、人口変動を見ると、人口は30%減、世帯数は7%減である。これは高齢化による一人世帯の増加が要因と考える。町長はどう考えるか。

課題の認識はしているが解決策が見つからない

町長

集落未加入対策問題は、何十年来の問題であり、自治公民館長研修会でも指摘されている。加入促進や勧誘も行っているが、解決に至っていない。

## 公民館運営は自主的活動が主体である

町長

集落の活性化について、頑張る応援交付金、伝統芸能を実施する為の交付金などにより自治公民館の活性化に取り組んでいる。

## 自治公民館の組織率向上目標は達成されたか

中山議員

総合計画では高齢化と加入率の低下が課題とされている。自



集落による美化活動

## 地域協議会はできないか

中山議員

公民分館の力と、自治公民館、老人クラブ、民生委員、児童委員、PTA、消防団、通り会、NPOなどの参画を求め、地域活性化のための地域協議会(仮称)はできないか。

## 集落を超えて組織を作ることも考えて

町長

地域活性化を考えると、集落を超えて、広域的に二、三集落で組織を作り多様な人材で活性化していく事は必要な施策である。

## 中学校部活動の活動状況を示せ

中山議員

中学校の部活動の教育課程の中での位置づけ及び部活動の状況をしめせ。

## 部活加入率79パーセント12の部活がある

教育長

部活動は学校教育活動の一環であり、大崎中では12団体79%の加入率で年々減少傾向である。部活はスポーツ、芸術文化などに関心、興味を持つ異年齢の生徒が、自主的、自発的に参加する有意義な教育的役割である。

## 指導方針に沿った教育活動ができていますか

中山議員

部活動の指導方針及びスポーツ庁などから示されている指針がある。働き方改革により教職員の部活指導も問題視され、外部指導者を要請している部もあるが、学校設置者に求められているガイドラインの研修は実施しているか。



中学校体育連盟地方大会

## 周知は実施しているが研修は実施していない

教育長

教職員24名、外部指導者6名で部活の監督指導を行っている。学校の指針についてはPTAなどで周知がなされているがスポーツ庁が求めている研修は実施できていない。

## 中体連主催大会時の送迎状況を示せ

中山議員

教育の一環である部活、中学校体育連盟主催大会が年2回程度開催されていると思うが、参加生徒の送迎の状況はどの様に行われているか。

## 保護者の送迎で実施している

教育長

保護者負担のバス借り上げ、保護者の自家用車を利用し送迎を行っている。

## 学校設置者として事故など考えると行政負担すべき

中山議員

学校設置者として事故発生時の補償問題などを考えると、中体連に限り行政負担すべきだと考えるが、町長、教育長の考えをしめせ。

## 良い方向で対策を講じる

町長

中体連の大会について、保護者の送迎による事故など望ましい事ではないので、教育長と協議し良い方向を講じる。

教育長

練習試合は別とし中体連主催大会については町長と相談しながら検討する。

# 大崎町土地開発基金の有効活用による定住化促進は

## 財源確保や分譲事業の手法と併せ検討する



吉原 信雄 議員

本町の人口は、本年7月末現在で1万2892人であり、うち野方地区は全体の17%、2159人になる。

世帯当たりの人数は、町全体及び野方地区共、1.9人でほぼ同じである。

野方地区においては、平成23年に野方小学校に隣接する町有地の分譲を行ったところ、現在、住宅8軒が建設され24名の子供が誕生し定住化に大いに寄与している。

今回、この場所に隣接する地元地権者の方々から住宅用地として協力できる見込みであるが、土地開発基金を利用し、本町で購入する考えはないか。



野方小横の分譲住宅

### 分譲地の候補として検討

#### 町長

移住・定住施策のメニューとして分譲施策は重要である。提案の箇所については、分譲に適した立地条件を備えていることから財源確保や分譲事業の手法と併せ検討したい。

### 浄化槽設置補助金制度を廃止するのか

#### 吉原議員

本町においては、「大崎町合併処理浄化槽補助金制度」を活用しながら、平成12年度から30年度にかけて2040基の浄化槽に対する補助を行ってきた。

この事業は、定住を希望する転入者などにとっては大変ありがたい事であるが、本年度で終了するのか。

### 今年度をもって終了する

#### 町長

国において浄化槽に関する補助金制度が改正されたことを受けて、県・近隣市町の動向を踏まえ来年度から廃止する。すでに関連交付要綱を改正し、必要な手続きを進めている。

### 新築住宅に対する浄化槽設置補助金の継続は

#### 吉原議員

浄化槽設置に対する補助金は、本町に居住したいと願う人たちにとつてありがたい制度であることから、「大崎町定住住宅取得補助事業」の中に取り込む形で継続できないか。

### 事業メニューの見直し検討

#### 町長

公共下水道区域内に住宅を取得する方との公平性も考慮した上で、定住住宅取得補助事業のメニュー見直しと併せて検討したい。

### 庁舎のバリアフリー化への対応は

#### 吉原議員

先の国政選挙で重度の障がいをお持ちの方が当選され、健常者のみを対象にした公共施設（庁舎等）の在り方に二石を投じた。

新聞調査によると、県内で43市町村議会のうち段差解消や身体障がい者用トイレなどを設置しているのは鹿児島市など4市町。傍聴者配慮の議場は18市町にとどまる。

本町においても検討する考えはないか。



整備が進む県議会議場(南日本新聞社提供)

### 可能な範囲内で環境整備に努める

#### 町長

本庁舎以外の公共施設についても構造上の制約など課題も多いが、施設の状態に応じた創意工夫により環境整備に努める。

### 高齢者の安全運転補助器具の補助はできないか

#### 吉原議員

平成30年12月、車の急発進を防ぐ装置が発売され、東京都においては70歳以上を対象に今年7月頃から90%補助を実施している。

本町においても、ある程度の範囲まで補助することはできないか。

### 国の動向を見ながら検討

#### 町長

国の自動ブレーキ義務化等に係る政策の動向などを見極めながら、今後の検討課題としていきたいと考えている。

○免許証自主返納者数 R元.8.29現在

年度	返納者数(人)	備考
31	29	8月29日まで
30	55	
29	65	
28	35	
27	25	
26	22	
25	21	H25年度から実施
合計	252	

※H25年度から実施  
対象者:75歳以上  
返納に係わる謝礼:10,000円

# リサイクルに関連した総合施設をつくるべき

## 総合施設は今後協議していく



中倉 広文 議員

指定日に資源ごみを出せなかった住民を救済するため、いつでも資源ごみを出せるステーションを設置すべきである。同時に、本町のリサイクルの取り組みや歴史が一目で分かる資料館の併設や、使用可能な資源物を購入できる総合的な施設はつくれないか。

### 総合施設は協議していく

#### 町長

リサイクルについて学びながら本町の特性を理解していただくシステムをつくりたいと思う。提案については担当職員や衛生自治会とも協議していく。



廃棄された資源物の再利用

### 分別によるメリットをさらにPRすべき

#### 中倉議員

資源ごみを分別している住民自身はそのメリットを感じられていないと思う。分別という住民のひと手間が、どのように住民自身に反映しているかということをもっと広く町内外にPRすべきではないか。

### 効果的なPRを十分協議する

#### 町長

分別のメリットをわかりやすく

く住民の方々に伝えることはとても重要である。そうすることでリサイクルに積極的に取り組まれることにもつながり、同時に持続可能な取組みになると考えているので協議していく。

### 水田暗きよ排水事業の再事業化はできないか

#### 中倉議員

本町の暗きよ排水対策事業は、実施から約30年以上が経過し、排水施設の経年劣化により場所によってはその効果もなくなりつつある。水田暗きよ排水事業の再事業化はできないか。

### 可能な排水事業を検討する

#### 町長

国道から南側の水田地帯においては泥炭層で水はけが悪く、排水対策が不可欠であると思っている。しかし、町単独事業での対策は難しいため、国県の補助事業の活用も調べていく必要がある。再度検討をしていく。

### 津波避難所への誘導路を再点検すべき

#### 中倉議員

時間的猶予のない津波発生時を想定し、夜間や荒天時、また停電も考慮した避難路の点検整備などは避難者の立場でなされ

ているか。また、避難所までの誘導路で、一部標高の低い場所を通過しなければならぬ住民の不安感を少しでも解消すべきだがどうか。



児童による津波避難訓練

### 関係機関と連携し安全な誘導確保に努める

#### 町長

夜間や停電時に災害が発生した場合の避難にも十分配慮しなければならぬと考える。これまで津波避難訓練に参加された方々の意見や消防団など関係機関と連携をはかり、道路の管理なども含め避難所への安全な誘導確保に努めてきた。今後も、住民に対して災害に関する情報が十分伝達できるよう努めていく。

### 災害情報収集と周知には効果的方法を取っているか

#### 中倉議員

SNSは平時には地域での催し物や生活関連情報、また、災害時には避難所の情報や災害情報を発信および収集することができる。たとえSNSを使う手段がない方でも、活用できる近隣住民からの声掛けにより早い判断や行動が期待できると考える。既存の情報提供の手法と合わせ、今後はさらに利用度の高いアプリケーションも活用すべきだがどうか。

### 今後はラインなども活用する

#### 町長

災害が発生、または予測される場合、本町では防災行政無線とフェイスブックを活用し住民への情報発信を行っている。災害の予測や発生については、できるだけリアルタイムで詳細な情報発信が重要なので、今後は早い段階でラインなども活用できるように努める。

※SNSとは、登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービスのこと

※ラインとはSNSの中で、日本で一番使用されているといわれており、災害時の活用例が多いアプリケーションである

その他の質問 農業公社を設立すべき

# 異常気象に対する防災対策は十分か

## 防災計画に基づき広報を行い 被害の軽減をはかっていく



児玉 孝徳 議員

近年の異常気象で、甚大な災害が日本中で多発している。

7月3日には町内全域に警戒レベル4の避難指示(緊急)が出され、菱田川は氾濫危険水位を超え堤防が決壊寸前となり、大勢の方が避難した。町民に適切な情報をいち早く伝え、避難させるには防災意識を高める必要があるがその対策は十分か

### 地域防災計画に基づき整備し防災無線で広報していく

町長

大崎町地域防災計画に基づき避難所を開設し、防災行政無線や消防団による広報などを行っている。今後も避難態勢の整備に努め、人的被害の軽減をはかり、平常時より繰り返し災害時

の早期避難を伝えていく。



7月3日の大雨で決壊寸前の菱田川

### 堤防のかさ上げは出来ないか

児玉議員

菱田川が決壊した場合、多くの世帯が床上まで浸水すると予想されるが、堤防のかさ上げは出来ないか。

### かさ上げを県へ要望していく

町長

管轄は県であるが、これまで県や国にお願いを重ねている。

菱田川は7m10cmが氾濫危険水位の高さであるが、7月3日の大雨では6m80cmぐらいまで水位が上がった。地域住民の生命財産を守るため、今後も関係機関と連携をとり、要望活動を続けていく。

### 消防団へ水害救助用ゴムボートを配備すべき

児玉議員

水害時に要配慮者は単時間で危険が及ぶ場合がある。いち早く救助するには、東串良町のように消防団へ水害救助用ゴムボートを配備すべきではないか。



水害時に住民を安全に救助するためのゴムボート

### 消防幹部会の意見を聞き検討する

町長

水害救助用ボート配備は品質

や保管場所、搜索態勢など検証課題も多いことから、必要性も含めて消防幹部会の意見を聞き検討する。



地域住民と楽しく交流を行う技能実習生

### 外国人への避難情報伝達が素早くできるよう取り組め

児玉議員

大崎町にも多くの技能実習生などの外国人がいるが、言葉の壁があり、災害情報が伝わらない。いち早く災害を知らせ避難してもらうために、外国語のパンフレットや、広報用の録音ソフトを作るべきではないか。

### 雇用先と検討していく

町長

災害時の外国人の避難対策の必要性は感じている。今後は災

### ペットの避難所開設を考えるべきではないか

児玉議員

最近ペットも家族という方が増えているが、避難所に一部屋預り所を設け、ゲージなどで自分で用意したら預けられる、ペットの避難所は出来ないか。

### ゲージを用意して風雨をしのげる屋外避難になる

町長

避難所には多くの住民の方が来られ、中にはペットの苦手な方もいる。現状では、ペットと一緒に避難する場合は自分でゲージを用意し、雨、風などをしのげる屋外での避難になる。



家族同様のかわいいペット

# 大崎町3つの川の水質は大丈夫か

## 特段の変化は感じてない



神崎 文男 議員

近年町内3河川の水質が悪くなっているようだが、町長の感想は。

産業の発展とともに、化学肥料、畜産頭数の増大や人口の増加などの要因があると思われる。

河川をきれいにする協議会  
は出来ないか

神崎議員

本町の河川をきれいにするために、協議会を立ち上げられないか。

町内3河川の水質調査の結果

	硝酸性窒素 (NO-3N)	電気伝導度 (EC)
菱田川	40.3ppm	146 $\mu$ S/cm
田原川	65.1ppm	199 $\mu$ S/cm
持留川	32.3ppm	169 $\mu$ S/cm
標準値	10ppm 以下	50 $\mu$ S/cm

### いろいろの要素がある

町長

本町の基幹産業である農畜



河川環境に関心を持ってもらう活動

### 時間をかけて慎重に行う

町長

河川の浄化はやらないといけないが、時代が進展して様々な農業形態が変わり、河川の汚濁が進んで来たので、県・町の関係のある水利組合などが主体となって慎重に行う必要がある。

トレーニンングセンター周辺  
の道路や排水路整備は

神崎議員

陸上競技のトレーニンングに特化した日本初のジャパンアスリートトレーニンングセンター大隅が完成し4月から利用されている。いままでトリニダードバコや台湾の陸上選手が利用している。しかし、その周辺の道路や排水路は悪い所がある。砂利道やアスファルト舗装はしてあっても、小さな穴があったり雨上がりには水が溜り景観的にも悪いが、整備出来ないか。

### 一体的な整備を検討する

町長

今後、砂利道の舗装については、地域の実情や財政状況を見きわめた上で検討したいと考えている。周辺道路の舗装補修については、現地調査を行い、補修の規模にもよるが今後検討す

る。指摘の圃場は排水路網などが未整備であり、ジャパンアスリートトレーニンングセンター大隅も整備されていることから、今後、景観などに配慮した一体的な整備を検討する。

本町の医療費はどれくらいか

神崎議員

日本は高齢化が進み医療費が増えている。本町の医療費はどれくらいか。

平成30年度で15億5586万円

町長

本町の国保事業特別会計における総医療費は平成30年度で15億5586万7千円で一人当たり40万9546円である。

健康づくり事業数と参加人数は

神崎議員

自分の身体は自分で守る。運動などをして健康な体を保って病気にかからないように務める。これも医療費の削減になると思う。本町が取り組んでいる健康づくり事業はどれくらいで、何人くらいか。

全体で1181名

町長

マスターズプロジェクト事業

が4つの会場で50名、ころばん体操が25箇所343名、ふれあいいききサロン事業が38箇所587名、いきいきクラブ事業が50名、生涯学習講座の太極拳やジョギングなど9種目で125名、老人福祉センターで2種目26名で延べ人数は1181名である。

医療費削減策は

神崎議員

町民の方で健康に気をつけて、グラウンドゴルフやジョギングなどの運動をしている方が増えてきた。これらが医療費の削減に繋がっていると思うがどうか。

関係機関と連携をはかり  
取り組む

町長

グラウンドゴルフは高齢者にふさわしいスポーツである。住民が住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、医療、介護、住まい、生活支援などの各分野互いに連携しながら支援する地域包括ケアシステムの構築に向けて、関係機関と連携をはかりながら取り組んでいきたい。

# 空き家対策の実績は

## 空き家の対策事業利用は92件



上原 正一 議員

再利用できる空き家の有効活用と定住化促進をはかるため、取り組んでいる空き家リフォーム促進事業と、空き家バンク事業など制度の利用実績はどうなっているか。

又、今年始まった危険家屋解体事業の件数は、いくらか。

### 再活用は92件である

町長

空き家リフォーム促進事業の実績は、28件で1326万8千円の補助金を交付している。又、空き家バンクの活用は延べ64件となっている。危険家屋解体事業の対象は2件である。

### 寄附された土地を若者に無償で提供できないか

上原議員

今後でも再利用できる空き家の対策事業を進めてもらいたいと考えているが、危険家屋などの再利用不可能な空き家は、地域を限定して町に寄附してもらい、さら地にしたうえで、定住を条件に若者へ無償提供する。

こういったことで町を活性化したい町長の思いを地権者に伝え寄附してもらうと、定住化と空き家対策を同時に解決できると思うがどうか。

### 充分検討する

町長

空き家実態調査などは終了しており、登記上の問題とか、税法上の問題とかあるもので、どういふふうに対応していけばいいか充分検討する。

### 有害鳥獣の処理は

上原議員

数年前までは、サル被害対策を議論していたが、近年は獣

対策に追われている。

本町では、特にイノシシの被害が多発して猟友会やワナ免許者が駆除している。その処理方法と件数はどうなっているか。

### 埋土による処理をしている

町長

大隅地域振興局管内のほとんどの市町では、埋土による処理で一部の市町で焼却処理している。

	H29
イノシシ	1393
シカ	2
サル	237
タヌキ	1191
アナグマ	783
カラス	1883

### 大崎町捕獲実績

	H26	H27	H28	H29	H30
イノシシ	38	70	69	107	96
シカ	0	0	0	0	0
サル	20	40	25	17	6
タヌキ	100	149	200	233	25
アナグマ	0	43	49	53	29
カラス	120	79	57	23	30

### ジビエ処理加工施設建設は

上原議員

岐阜県で発生した豚コレラは

中部地方の八県に拡大し同県では、養豚農家の47%、頭数では52%が殺処分されている。

豚コレラの伝染源はイノシシである。この頭数を減らす事が大事で、大隅半島全体でジビエの加工処理まで考えるべきと思うが処理施設はできないか。



捕獲されたイノシシ

### 処理施設は思うように進んでいない

町長

この事は、4市5町にとっても重要な問題であり大隅総合開発期成会の中で知事にも再三申し入れをし、大隅地域振興局に

おいても被害対策を含めて提案をしてきたが、ジビエの処理加工施設については思うように進んでいない。

### 公営霊園はできないか

上原議員

この事については、何回否定されてもどうしても必要だと感じ公の場で議論していきたい。いつかはくる最期、誰でも向かえる死、昔は土葬、今は火葬、これからは、自由葬になりつつある。

色々な考えがある中で樹木葬は、これからの選択肢の一つであり、公営霊園でやる事が望ましいと考えるがどうか。

### 結論を出し得ていない

町長

樹木葬は、時の流れの中にある事は認めるし、想いも十分理解している。

しかし、場所をどこにするか非常に問題もあり、町営で取り組むことに対して結論を出し得ていない。

# 平成30年度事業は適切に実施されたか

## 町内事務調査

### 総務厚生常任委員会

#### ○おおすみ山の景観ポイント整備事業

四季の森への来訪を誘導するとともに利用者の利便性の向上、平和学習やビュースポットとしての機能向上をはかるため、双眼鏡、大隅半島の戦跡案内板、バイオトイレ及び駐輪場の設置を行ったものである。施設整備費の総額は、443万7000円で、平成31年2月28日に完成しており、財源の内訳は、県補助金及び一般財源となっている。



おおすみ山の景観ポイント整備事業を調査

**要望事項** バイオマストイレについて、基礎部分が敷石になってい

ることから、台風などの強風に耐える強度を確保するためにもワイヤなどで固定するなどの対策を講じるよう要望した。

#### ○あすばる大崎空調用熱源設備取替修繕

空調用熱源設備はこれまで経年劣化に伴う修繕を行ってきたが、平成30年度は特に故障が多発しあすばる大崎の経営に支障をきたしたことから、早急に取替が必要な状況であったため取替修繕を行ったものである。施設修繕の総額は、2430万円、平成31年3月28日に完成しており、全額ふるさと応援基金で賄われている。



空調用熱源設備の取替修繕を調査

### 文教経済常任委員会

#### ○第一仮屋ヶ谷橋補修工事

町内には全部で56橋あり、町で策定している長寿命化計画に基づいて補修工事が行われたものである。今回の補修工事は、ひび割れ補修工、断面修復工及び伸縮装置14・11メートルの取替工事が実施され、工事請負額は、2395万4400円となっている。



長寿命化補修工事が施された橋を調査

#### ○大崎中学校プールフェンス等改修工事

目隠しフェンスの設置、目隠しフェンス片開き扉及びプールサイドの張コン設置が行われ、工事請負額

は499万5000円となっており、全額ふるさと応援基金で賄われている。



大崎中学校プールフェンス等改修工事を調査

#### 要望事項

町内にある小・中学校のプールの中には、火災の時に消防水として活用できるよう整備された施設がある。火災時にプールの水を活用できない施設があるのであれば、火災時の迅速な対応などを確保するという観点からも、今後施設整備を行う際には、火災の非常時に消防水利用として活用できるような施設整備を考慮していただくよう要望した。

# 議会のうごき

## 大隅地域市町議会

### 議員研修

8月16日、大隅地域市町議会議員協議会による議員研修会が行われた。

今回は、4月から供用開始されたジャパンアスリートトレーニングセンター大隅において現地研修が行われ、各施設の概要について説明があった。



総会で今後の活動方針を協議

その後、総会が行われ、事業実績や歳入歳出の決算、事業計画（案）や歳入歳出（案）及び協議会役員などについて審議し承認された。また、今後の活動方針についても協議が行われ、国や県に対

して積極的に要望活動を行っていることや、当協議会内に調査部会として鳥獣被害対策部会と観光部会を創設し、大隅地域の広域的な課題について協議していく事が決定された。

## 市町村議会広報研修会

8月28日、県町村議会議長会主催による市町村議会広報研修会が、鹿児島市のウェルビュールかごしまで開催され、議会だよりの編集を担当している広報広聴常任委員が参加した。

今回の研修では「議会報が読まれ、伝わる『議会だよりの基本と編集』」と題して、議会広報サポーター芳野 政明氏の講演と、同講師による議会広報クリニックが行われた。

講演では、議会の傍聴に来ていない方が傍聴に来た方と同じように理解できるように、広報の内容を編集すべきであるとの説明や、研修の中では、おおさき議会だよりのクリニックを受けたが、条例に関する記事などは内容が難しすぎるという指摘もあったので、今回学んだことをいかしながら、これまで以上に読み易く親しまれる議会だよりを作成していきたい。



読まれる伝わる議会だよりを目指して研修

## 広報広聴常任委員

### 研修会

8月29日、始良市の会議室で、『広報あいらの編集について』研修を行った。

当該広報紙は、全国表彰を多数受賞していることから、今回は、広報あいらの編集方針や読み易い紙面づくりのために工夫していることなどを学んだ。

今回の始良市及び県町村議会議長会主催の研修を通して、誰が見て読むのか（誰に対する情報発信なのか）ターゲットを想定することや、読者である住民が関心のあ

る重要なことなど、読みたくなるような誌面づくりの編集方法について学ぶことができたので、今後の編集作業に活かしていきたいと考えている。



始良市の広報あいらを研修

## 本町への議会研修

●愛知県岡崎市議会（7月29日）  
ゴミのリサイクルに関する研修のため、議員4名来町された。

●埼玉県松伏町議会（7月30日）  
ゴミのリサイクルに関する研修のため、議員4名来町された。

# 私の想い

【地域の方々に支えられて】



大崎シルバー人材センター  
事務局長  
上野 浩二 氏

大崎町シルバー人材センターに平成11年に入職し今年で20年になります。その間、色々な方々に支えられて今日を迎えられており、感謝の気持ちでいっぱいです。

シルバー人材センターは経験豊富な高齢者の皆さんが、引き受けた仕事を責任を持って確実、丁寧に仕上げます。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

シルバー人材センターへの入会はセンター事業の趣旨を理解し賛同していただける町内在住の60歳以上で健康で働く意欲のある方なら

どなたでも入会できます。

少子高齢化が一層進む中、一般家庭・企業・公共からの就業依頼をいただいで、高齢者が「福祉の受け手ではなく社会の担い手」として活躍できる橋渡しができればと思っております。独自事業として刃物研ぎサービスも好評をいただいでおり、毎週水曜日（祝日・年末年始・お盆は休みます）9時～15時（受付14時まで）当センター作業場にて実施しておりますので、是非ご利用ください。地域社会への貢献活動としてボランティア活動も積極的に行っており、大崎町主催の「くにの松原クリーン大作戦」に協賛として毎年参加しています。又、町内の小中学校へ竹ぼうき・雑巾の寄贈、保育園・介護施設への慰問等の活動も行っております。会員共通の趣味を生かした同好会組織もあり、グラウンドゴルフ同好会・書道同好会・パソコン同好会が定期的に活動しています。

当センターでは入会説明会を毎月第2火曜日10時から当センター会議室にて実施しております。話を聞くだけでも構いませんので、興味のある方は是非お気軽にお越しください。

超高齢社会を迎えた現在、高齢者の方々が笑顔で生き生きと暮らせる社会に少しでも貢献できるように、頑張っていきたいと思っております。



毎年参加しているくにの松原クリーン大作戦

## 編集後記

運動会シーズンも終わり爽やかな秋となって参りました。台風19号で被災された多くの方々には心からお見舞い申し上げます。皆様のお知り合いには被害はなかったでしょうか。

さて、議会では住民と語る会をサロンの方々などに行いました。たくさんの方々から貴重な意見を頂きました。住民の住み良いまちづくりに繋げて参ります。ここに議会だより第153号をお届け致します。

本町の課題などについて情報が多く掲載されておりますので、是非、読んでいただくようお願い致します。

風邪が流行っておりますので、お召しにならないようお過ごしください。

（小野光夫）

### 議会広報広聴常任委員会

- 委員長 児玉孝徳 副委員長 稲留光晴
- 委員 小野光夫 委員 吉原信雄
- 委員 中倉広文 委員 諸木悦朗

発行責任者 大崎町議会議長 宮本 昭一